

栃木県農業大学校 令和6年度学校評価 シート

目指す方向 魅力ある農大づくり ～農大の価値を高め、とちぎの農業を担う人材を育成する！～

重点目標	現状と課題	評価項目 評価指標	具体的方策	取組項目		経過・達成実績	達成度	次年度の課題と改善方向	関係者評価委員会 からのコメント
				学部・塾	内容				
3 進路指導の強化	<p>(現状)</p> <p>○R5農業生産学部雇用の含まれた就農率(研修後就農を含む)は40.8%と低迷している。 なお、進路決定率は90.0%であった。</p> <p>○研修修了生(専門研修コース)の農業従事率は91.1%であった。</p> <p>○生産学部卒業生の雇用を含めた就農率(研修後就農を含む)は各 科、コースによって較差が大き く、全体的には低迷傾向にある。</p> <p>○全入学者に占める非農家出身の 学生の割合は6割を超えている。</p> <p>○雇用就農を希望する学生も増加 しているが、畜産部門では農業法 人からの求人は多いが、その他は 少なく、希望する部門と求人が必 ずしもマッチしない。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の拡 大が学生の進路選択にも影響し、 就職活動は活発化している。</p>	<p>進路</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業生産学部 就農率計 60%</li> <li>進路決定率 100%</li> </ul> <p>(就職率、農業 関連団体・企業就 職率)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来塾</li> </ul> <p>専門研修修了生 農業従事率 80%</p> <p>就農実現率 80%</p> <p>(就農を目指す 学生のうち就農 出来た者の割 合)</p>	(1)進路希望の把握と的確な進路指導	生産学部 経営学部 未来塾	<p>○個別面談の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生に対する早期面談の実施等、学生の希望や特性に応じた就農、就職活動の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学科専攻で適宜1年生との面談を実施し、学生の進路希望を都度把握(4、5月及び10、11月)</li> </ul>	<p>農業生産学部 農業経営学部 就農率 42.0%</p> <p>進路決定率 98.6%</p> <p>(就職率 52.2%、うち 農業関連団 体・企業就職 率68.6%)</p> <p>未来塾 専門研修修 了生農業従 事率 91.4%</p> <p>就農実現率 100%</p> <p>(29/29名)</p>	<p>・引き続き個人面談を早期から複数回行い、就農、就職を支援していく。</p> <p>・各学年に対する取組は就農希望者にとって有効であったことから、引き続き実施する。</p> <p>・引き続き進学希望者への支援を行う。</p>	<p><b>農業技術検定の合格は就職に有利に働いているか。</b> →検定合格者へは履歴書へ記載するよう指導している。求人側から検定合格を求められることは無いが、JA系統への就職には有効と考える。</p>
					<p>○就農希望者への支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生を対象とした雇用就農理解促進研修会等の開催</li> <li>・2年生を対象とした雇用就農求人先とのマッチング支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生と雇用就農求人先とのマッチングを個別に実施(4～8月、11名)</li> <li>・1年生を対象に雇用就農理解促進研修会を開催(11/8、20社、69名)</li> </ul>			
					<p>○4年制大学等への編入希望者に対する支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4年制大学編入希望者への論文作成等の支援(4～11月)→3名全員合格</li> </ul>			
					<p>○資格取得の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業機械基本実習Ⅰ、Ⅱの実施</li> <li>・資格取得教養講座(毒劇物取扱者、ワープロ検定、英会話、危険物取扱者及び商業簿記等)の実施</li> <li>・資格取得研修(フォークリフト・アーク溶接・ガス溶接研修・家畜人工授精師養成講習会)の受講調整および実施</li> </ul>			
			(2)就農イメージの早期確立	<p>○就農促進講座等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業振興事務所と連携した就農促進研修会等の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就農促進研修会を開催し、農業振興事務所及び当校と学生との3者面談を実施(6/7、69名)</li> <li>・就農促進シンポジウムを開催し、就農・雇用就農した卒業生と学生との意見交換等を実施(7/5、69名)</li> </ul>	<p>・引き続き資格取得の支援を行う。</p>	<p>・引き続き農業振興事務所との情報共有や学生の就農に対する具体的なイメージを醸成するため、引き続きこれらの事業を実施する。</p>	<p><b>雇用就農の実績はどうか。耕種部門の法人へもあるか。</b> →本年卒業学生の14名が雇用就農する。経営類型では畜産が多い。水田農業の学生6名が雇用就農をする。</p>	
				<p>○農業法人等へのアプローチ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・求人を希望する法人に対する雇用就農理解促進研修会のPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用就農理解促進研修会への参加を法人宛てPR(9月、33社)</li> <li>・雇用就農促進研修会開催(11/8、21社、69名)</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用就農を希望する学生の意欲向上に繋がっており、引き続き優良な法人の参加を募って継続して実施していく。</li> </ul>

目指す方向 魅力ある農大づくり ～農大の価値を高め、とちぎの農業を担う人材を育成する！～

重点目標	現状と課題	評価項目 評価指標	具体的方策	取組項目		経過・達成実績	達成度	次年度の課題と改善方向	関係者評価委員会 からのコメント
				学部・塾	内容				
	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●農業大学校の設置目的を踏まえ、就農への誘導等にしっかりと取り組み、就農率の向上を図る必要がある。</li> <li>●非農家出身者でも就農や農業関係団体への"就職に強い進学先"としての評価を高めるため、進路決定率100%を達成していく必要がある。</li> <li>●R5年度以降の就職活動についても、引き続き、新型コロナウイルス感染症による社会、経済への影響が懸念されることから、農業法人や企業等と連携を密にし、学生に対する支援を積極的に行う必要がある。</li> <li>●就職であっても将来的にUターン就農されるよう、意識付けを図っていくことが必要と考えられる。</li> <li>●就農する学生・塾生に対しては農業振興事務所及び就農コーディネーターと連携した就農計画作成支援や農地確保など、農大内外での協力支援が必要である。</li> </ul>		(3)雇用就農等斡旋機能の強化	生産学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求人情報等の充実</li> <li>・研修会の開催による雇用就農希望者の把握と受入生産者のマッチング支援</li> <li>・HP掲載の求人票のバージョンアップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R5開催雇用就農理解促進研修会参加法人と2年生とのマッチング(4～8月、5社、6名)</li> <li>・HPの求人票様式における休日や手当等雇用条件の記載内容を充実(1月)</li> <li>・求人先からの問合せに対する様式の紹介(4件)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き研修会を開催し、雇用就農希望学生とのマッチングを図る。</li> </ul>	<p><b>就農や就職には失敗を恐れずチャレンジするよう学生を指導願いたい。</b> →学生の希望が叶うよう支援する。</p>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>○雇用就農・就職支援</li> <li>・これまでの就職先情報の一元管理</li> <li>・農業振興事務所等と連携し、雇用を希望する法人の情報収集</li> <li>・HP掲載の「求人のお祝い」欄の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用就農及び就職先情報のデータベース化(9月)</li> <li>・新たな雇用就農求人先の開拓(7月2法人、8月1法人、9月1法人)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職先情報の適切なデータ更新を行うとともに、農業振興事務所との連携を継続し、雇用希望法人の情報収集を行う。</li> <li>・HP「求人のお祝い」欄の更新を必要に応じて検討する。</li> </ul>		
				経営学部 未来塾	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業振興事務所や関係機関との連携による就農支援</li> <li>・農振事務所担当との面談や就農支援会等によるオーダーメイド型就農支援の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未来塾研修生は年度当初に農業振興事務所担当と面談。その後、就農コーディネーターが面談を2回実施(2回目は希望者のみ)</li> <li>面談結果は各農業振興事務所担当と情報共有</li> <li>・いちご学科は、年度当初に農業振興事務所担当と面談。その後、担任等と面談を2回実施。必要に応じて面談結果を各農業振興事務所担当と情報共有</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの研修生が就農できるよう関係機関と連携しながら支援していく。</li> </ul>	